

New York Report

April, 2018

CONTENTS

* Project 1: Industry City

1. Industry City

Project Overview

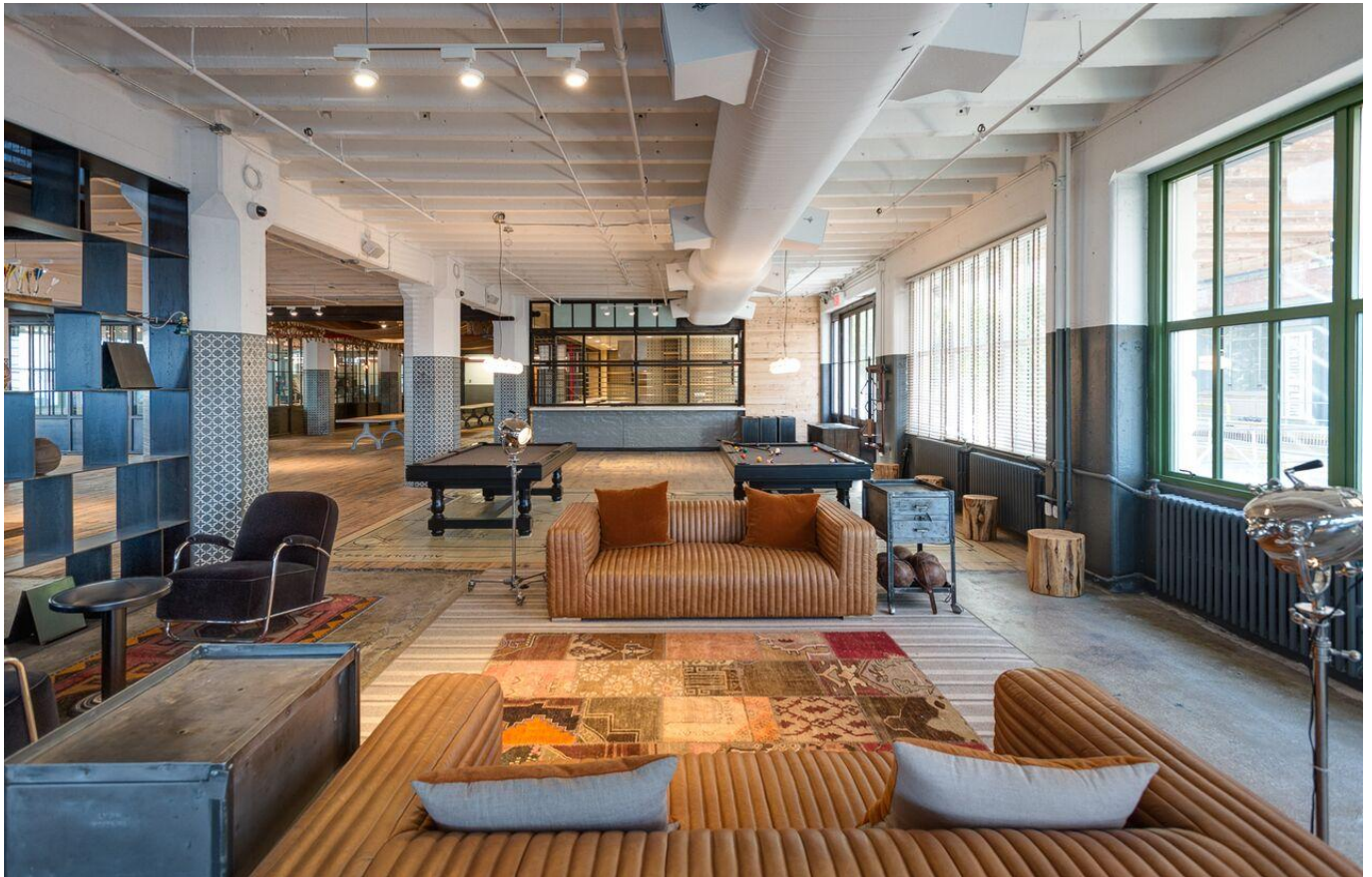
かつては全米最大の港といわれ、第二次世界大戦前まではマンハッタン経済と強く連動していた、物流、生産の中心地であったIndustry City (Brooklyn, Sunset Park)。Bush一族（大統領経験ファミリーとは無縁）によって経営されていた同港は、大戦後の鉄道衰退とともに規模を縮小。爆発事故、汚水事件後は、経営者も変わり、衰退の一途をたどり敷地は荒れ放題になっていた。90年代以降は、倉庫や工場跡のロフトにアーティストなどが移住するようになり、約30,000SQFTのスタジオスペースを中心に、カルチャーイベントが催されるようになるなど、活気を取り戻し始めた。2011年には、35エーカーの同エリアのリノベーションを行う10年計画が発表され、現在も進行中。250億ドルの調達に成功し、2013年にスタートしたプロジェクトは、ビルの改装や海辺公園の緑化、積極的な企業誘致を行い、現在450の会社がオフィスや店を構え、年間6500件の雇用を生んでいる。クリエイティブ、テクノロジー、メディア、政府関係が集合。相互間の相乗効果も高まり、マンハッタン外では、最大規模のビジネス街を築きつつある。ちなみに、2014年には、NBAブルックリン・ネッツも同地に大規模なトレーニング施設をつくり話題となった。現在は、ホテルや教育施設などの設置を目指していると発表している。

Project Details

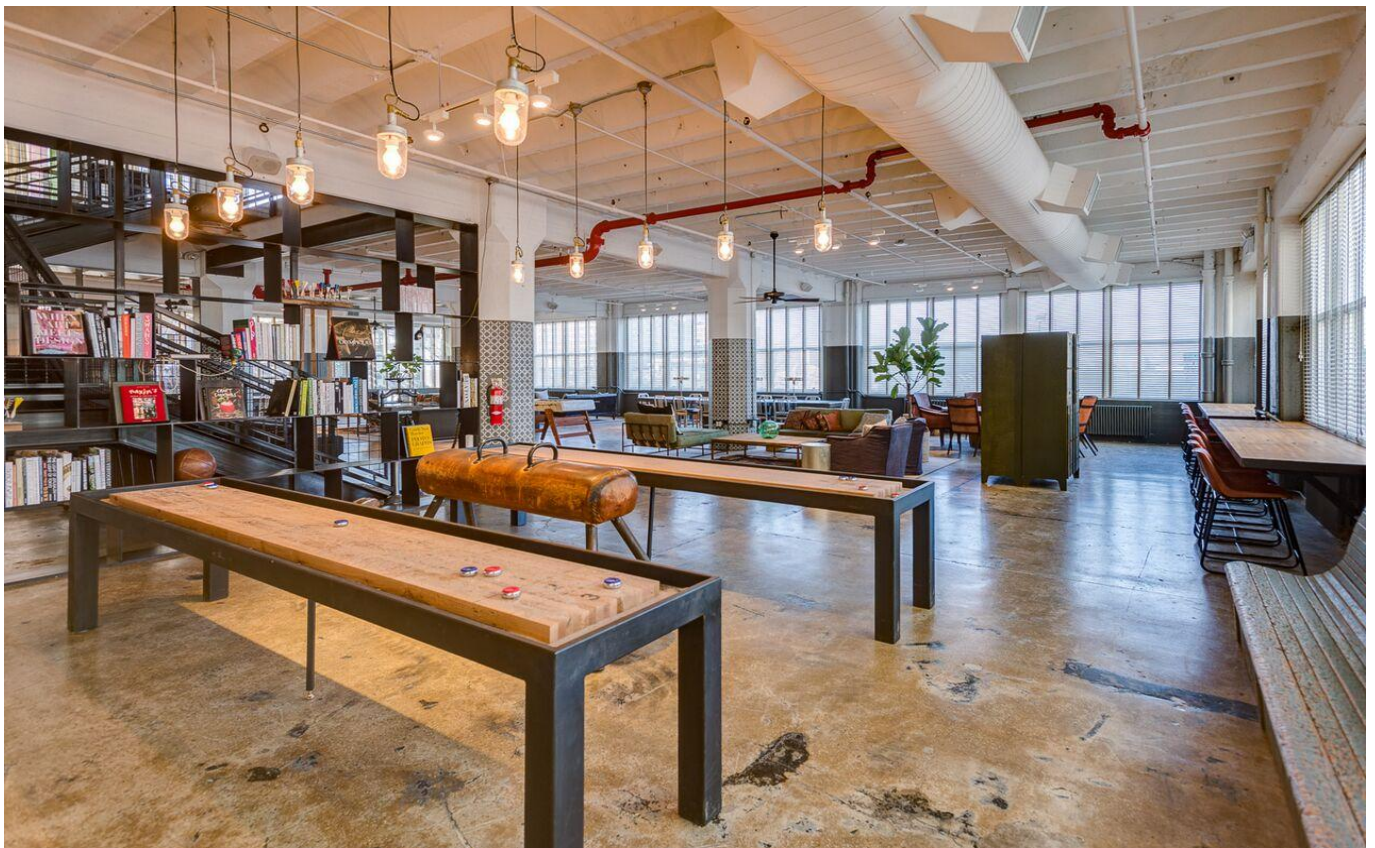
1. Industry City
2. Type of Business: Business & Retail complex
3. Open Date: 2013 (現在も開発が進んでいる)
4. Location: 220 36th St, Brooklyn, NY 11232
5. Target Customer: All
6. Store Concept: Cultural community for Business & Consumer
7. Website: <https://industrycity.com/>

Location Map





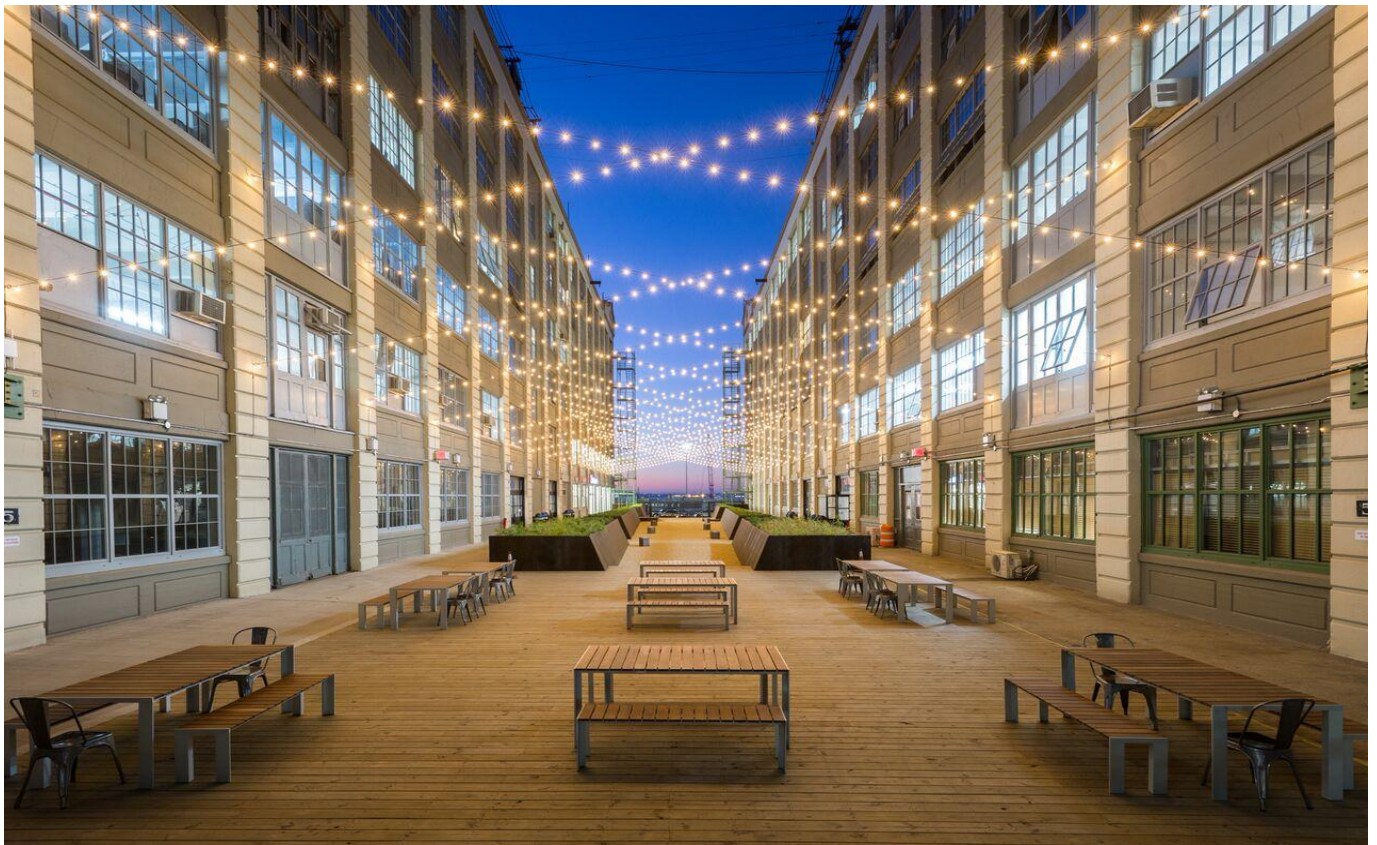
(オフィスビル内のコモンラウンジ)



(オフィスビル内の共有エリア)



(公園のように解放された中庭)



(野外ヨガや音楽イベントなども行われる中庭の夜間ライトアップ)



(荒れて殺伐としていたエリアの緑地化に力を入れている)



(ビジネス間の交流を推奨)



(飲食、インテリアショップなどが誘致されている)



(改築前の倉庫で行われた夜会イベントの様様)



(16 棟あるビルの中の棟 Innovation Alley)